

西 多久町を支え、盛り上げる

幡船の里の
みなさんの声



3月に移住され、4月には西多久多目的運動場への自動販売機設置を実現されるなど、スピーディに物事をこなす木下さん。最近はいのししの駆除をお願いし、西多久町の農作物が安心して育てられる環境を作っていただいています。どんな仕事も快く受けてくださり、人当たりがよく、多久のみなさんともすぐに馴染まれました。来てくださって心から感謝しています。

18歳まで小城市で過ごし、進学を機に埼玉県へと移住した木下さんは、第二の人生を自由に楽しみたいという思いから「多久市移住体験住宅」を利用して1か月間多久での暮らしを体験。その後地域おこし協力隊に応募し、現在は幡船の里を拠点に西多久町活性化のために活動されています。



多久市 地域おこし協力隊
きのした みつじ
木下 光次さん
3月8日 着任
(活動拠点) 幡船の里

西多久町のみなさんから生活の困りごとと相談を受けることも多いという木下さん。かつて電気や空調などの設備管理に携わっていた経験を生かす場面も多いそうです。また、西多久町猪鹿地区で栽培される「そば」を多くの人に親しんでもらえるよう「そば会」を発足したほか、最近では試食会を開催されました。「そばのPRや鳥獣害対策へさらに力を入れるのはもちろん、西多久町に飲食店を作ったり、多目的広場のイベント開催など、夢はまだまだ膨らむばかり。地域のみなさんと一緒に頑張つて、より素敵な多久市にしていきたいです」と熱意があふれます。

多久市の魅力を幅広く発信

多久市観光協会の
みなさんの声



Instagram フェイスブック



井手さんは、常にお客さまファーストの視点で「七夕飾り～星に願いを～」 「風祭」 「釈菜バーガー」などの新しい企画を打ち出されたほか、SNSなどで多久市の魅力発信をされています。

関係団体との交渉や打ち合わせ、意見調整なども確実に遂行。さらに私たち協会スタッフの支援も手厚く、さまざまな場面で頼りになる存在です。

唐津市出身の井手さんは、長年勤めた会社を定年退職し「地域社会のために少しでも役に立つ仕事がしたい」と多久市の地域おこし協力隊に応募。現在隊員として、多久市観光協会を拠点に広報活動やイベントの企画運営のサポートなど、精力的に活動されています。特に多久市観光協会のフェイスブックとInstagramでの

発信は、細やかで楽しい情報満載だと大好評。多久市の観光名所やイベント、地域密着だからこそ届けできる多久の豆知識など、豊富な話題を月に約20件投稿されています。井手さんが目指すのは、持続可能な地域づくり。「論語の一説に『近き者説べば遠き者来る』とあるように、地元の人がかかるさに誇りと愛着を持つことが、足を運びたくなるまちづくりにつながると思っています。これからも市民のみなさんと力を合わせ、豊かな多久市の未来を作るため、さまざまなことに挑戦をしていきたいです」と笑顔で展望を話します。



多久市 地域おこし協力隊
いで けんいち
井手 研一さん
4月1日 着任
(活動拠点) 多久市観光協会